



安心 防災

災害時は感染リスクを踏まえた避難を
伊奈庁舎防災課 ☎58・2111（内線2502）

災害時における避難所では、「3つの密（密閉・密集・密接）」が重なりやすく、新型コロナウイルスの感染リスクが高くなる
ことが考えられます。

市では、避難所での、感染症対策として、検温や、密集・密接を避けるためのスペースの確保など、徹底した衛生対策に努めますが、感染リスクを完全に無くすことは困難です。

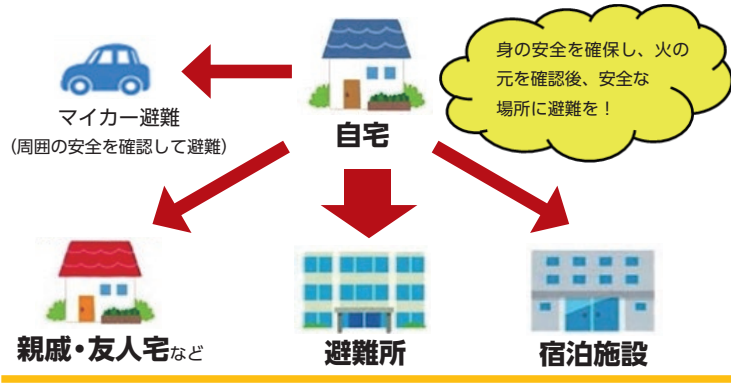
市民の皆さんも、地震や台風、そして大雨の時にどうすればいいのか「新型コロナウイルスの感染リスク」もふまえ、日頃からの備えと災害時の避難行動を改めて確認してください。

水や食料品の確保、ハザードマップの確認を

地震の時、自宅で過ごすための安全が確認された場合、自宅を過ごせるよう、必要となる水や食料などを備蓄しましょう。また、避難所以外に避難できる場所があるか、家族や親戚、友人と話し合いましう。

風水害に備えて、自宅や周辺にどのような危険があるか、ハザードマップなどで確認しておきましょう。自宅を安全に確保できる場合には、2階以上に避難するなど、垂直避難を考えましょう。

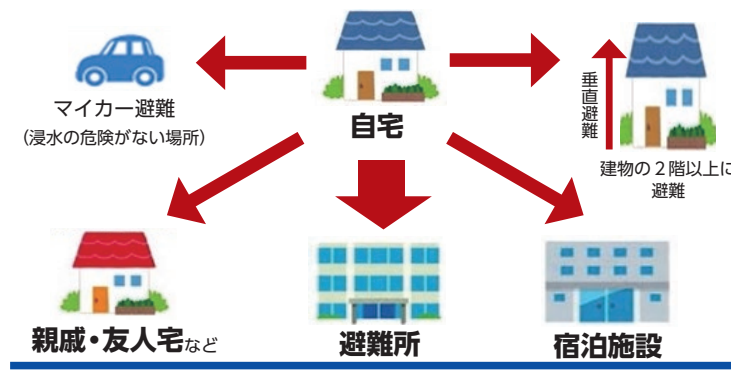
地震時における感染症対策の避難生活イメージ



※垂直避難をすることに少しでも不安を感じる方は、避難所に避難してください。

- 日頃から備蓄すべきもの
- 3日分の水や食料
 - ラジオ・懐中電灯
 - 携帯電話
 - アルコール消毒液
 - 体温計・マスク
 - ウェットティッシュ
 - 石けん・常備薬
 - ゴミ袋 など

風水害時における感染症対策の避難生活イメージ



樹木は早めに剪定を

道路に接する民地などで管理している樹木や生垣が、枝葉を落したり、道路上に伸び出ていることがあります。車両や歩行者の通行の妨げとなり、思わぬ事故を引き起こす原因となります。これらが原因で事故が発生した場合は、当該樹木の所有者が責任を問われることがあります。

このような状況が見られる樹木所有者の皆さんには、事故を未然に防ぎ、安全に道路を利用できるように、早めの剪定・伐採・除草をお願いいたします。

土砂の流出にも注意

大雨により、畑や荒地などの民地から道路に土砂が流出している場合があります。土砂が道路に流出すると、側溝をつまらせたたり、道路幅員の減少を引き起こすなど、通行の支障となります。また、農作業により田んぼや畑の土が道路に散乱しているところも見受けられます。自

環境・くらし **土地は適正な管理をお願いします**
谷和原庁舎建設課 ☎58・2111（内線5207）



◆作業上の注意事項◆
・電線や電話線がある箇所の作業は危険が伴いますので、事前に最寄りの東京電力やNTTに確認してください。
・通行車両や歩行者の安全確保と、樹木からの転落防止など十分にご注意ください。

【問い合わせ】
◎東京電力コンタクトセンター（停電・設備に関するお問い合わせ先）：☎0120・995・007
◎NTT東日本：☎113（局番なし）
※携帯電話・PHS・NTT東日本以外の固定電話からの場合
☎0120・444・113